

平成26年産 春野菜の需給・価格の実績

<概要>

1. 気象

- 4月は、移動性高気圧に覆われることが多く、全国的に日照時間が平年を上回り、北日本から西日本にかけて平均気温は平年並みとなった。沖縄・奄美では上旬に冷涼な高気圧に覆われる日が多く、平均気温は低温となった。また、降水量は全国的に平年を下回り、北日本日本海側と沖縄・奄美では降水量がかなり少なかった。
- 5月は、北・東日本で南から暖かい空気が入る時期があったため、平均気温は高かった。高気圧に覆われることが多かった東・西日本では降水量が少なく、日照時間がかなり多かった。沖縄・奄美では前線の活動が活発だったため、降水量が多く、日照時間がかなり少なかった。
- 6月は、北日本では、高気圧に覆われ晴れたため気温が高く、平均気温はかなり高かった。東日本で高く、西日本と沖縄・奄美は平年並みだった。北日本と東日本太平洋側では降水量が多かった。一方、西日本日本海側では、まとまった雨となる日は少なく、降水量は少なかった。

2. 生産・供給

- 春キャベツは、主産地の生育が、おおむね順調となったことから、期間全体では前年及び平年並みとなった。なお、千葉産が干ばつ傾向の影響により、生育が一部遅れたことや出荷のピークが早まったことから、一時的に入荷量が減少する時期があった。
- 春だいこんは、主産地の生育が、おおむね順調となったこと、4月に千葉産が降雪の影響で収穫が遅れていたものと春ものの出荷が重なったことから、期間全体では前年をかなり上回った。
- たまねぎは、北海道産が小玉傾向で貯蔵在庫が少なく、佐賀産が作付面積の減少や肥大遅れ、香川産が小玉傾向となったことなどから、期間全体では前年を大幅に下回った。
- 春夏にんじんは、主産地の生育が、おおむね順調となったことから、期間全体では前年並みとなった。千葉産が干ばつ傾向の影響により生育が遅れたことから、一時的に入荷量が減少する時期があった。
- 春はくさいは、主産地の生育が、おおむね順調となったが、茨城産が面積の減少や降雪により一部に定植遅れがあり、期間全体では入荷量が多かった前年をかなり下回った。
- 春レタスは、主産地の生育が順調となったことから、期間全体では前年をやや上回った。

3. 需要・価格

- 春キャベツは、入荷量がおおむね順調となったことから、期間全体では前年並みとなった。
- 春だいこんは、入荷量が順調となり、前年の4月及び5月の価格が安かったことから、期間全体では前年をやや上回った。
- たまねぎは、入荷量が少ないことから、期間全体では府県産が豊作で安かった前年及び平年を大幅に上回った。
- 春夏にんじんは、入荷量がおおむね順調となったものの、期間全体では順調な出荷により安かった前年及び平年をかなり下回った。
- 春はくさいは、入荷量が少なかったことから、期間全体では順調な出荷により安かった前年を大幅に上回った。
- 春レタスは、入荷量が順調に推移したことから、期間全体では前年をかなり下回った。

1. 平成26年産春キャベツの需給・価格の実績

	前回の委員会(26.3.14)での見通し	実績(6月下旬時点)
春キャベツ (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作付面積は、前年並みの見込み。愛知では他品目からの転換等がみられる。 ● 生育状況は、千葉は、生育は概ね順調であるが、一部のほ場で2月前半の突風の影響で遅れる可能性がある。神奈川は、生育は概ね順調である。愛知は、大雪で気温が下がったものの、その後適度な降雨もあり、生育は順調、大玉傾向である。 ● 出荷量は、4月は、3月の気温上昇により、神奈川で前進出荷となり、前年を上回り、5月は、多かった前年を下回り、6月は少なかった前年を上回る見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 価格は、4月は順調な出荷となり安かった前年並み、5月は平年並みの出荷となり安かった前年を上回り、6月は順調な出荷となり高かった前年を下回る見込み。 ● 加工・業務用においては、加工歩留まりの良い寒玉系が好まれるため、この時期は茨城の中間種が出荷されるまでは、輸入物で対応することが多い。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、神奈川産及び愛知産の生育の遅れが回復したことから、入荷量が平年をかなり上回った前年並みとなった。 ● 5月は、神奈川産の出荷時期がピークを過ぎ徐々に減少し、千葉産が干ばつ傾向の影響により生育が一部、遅れたことから、入荷量が平年をやや上回った前年をかなり下回った。 ● 6月は、千葉産の出荷のピークが早まったものの、茨城産及び群馬産の生育がおおむね順調となったことから、平年をかなり下回った前年をかなり上回った。 ● 期間全体としては、前年及び平年並みとなった。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:99%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、順調な出荷で、特に下旬に出荷が集中したこともあり、安かった前年をかなり下回った。 ● 5月は、順調な出荷で安かった前年を大幅に上回り、平年並みとなった。 ● 6月は、出荷量が少なく高かった前年をかなり下回った。 ● 期間全体としては、前年並みとなり、平年をかなり下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:100%)

(参考1) 平成26年産春キャベツの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

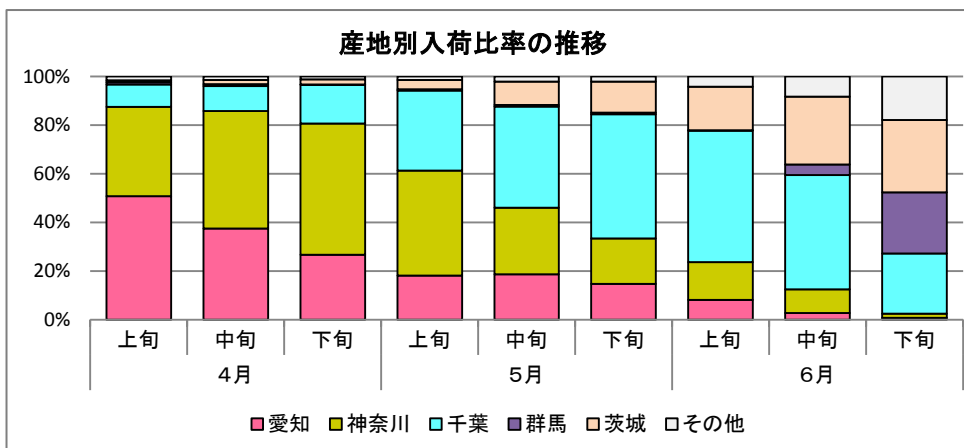
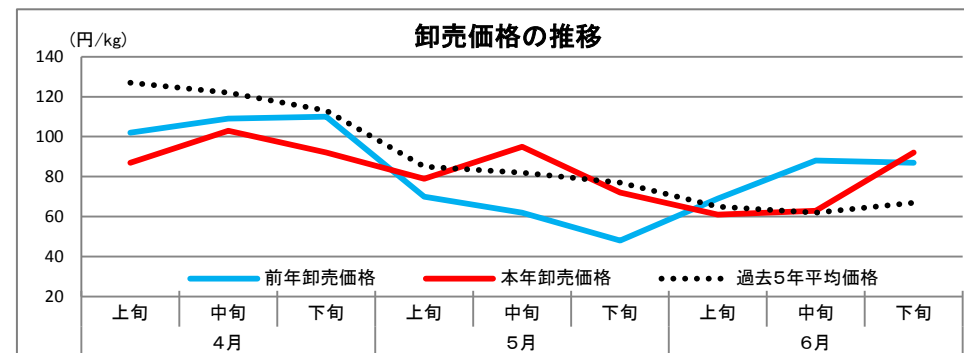
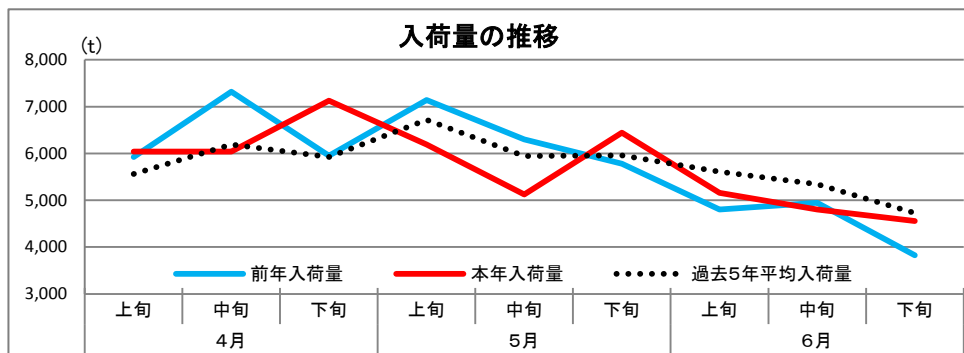
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	102	82	120	87	81	111	107	97	119	99
	100			92			107			
過去5年平均比	109	97	120	92	86	108	92	90	96	99
	109			95			93			

卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	85	94	84	113	153	150	88	72	106	100
	88			133			88			
過去5年平均比	69	84	81	93	116	94	94	102	137	92
	78			99			109			

(参考2) 平成26年産春キャベツの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

2. 平成26年産春だいこんの需給・価格の実績

	前回の委員会(26.3.14)での見通し	実績(6月下旬時点)
春だいこん (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作付面積は、前年並みを見込む。 ● 生育状況は、千葉は、2月の降雪、強風の影響で下位等級品の発生が増えることが懸念される。長崎は、播種も順調に進み、生育は前進傾向となっている。 ● 出荷量は、4月及び5月は千葉が降雨で播種が順調にできなかったことから前年を下回り、6月は少なかった前年を上回る見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 価格は、4月及び5月は、出荷が減少することから、安かった前年を上回り、6月は平年並みを見込む。 ● 加工・業務用では、この時期は九州産地との契約が増加傾向にある。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、千葉産が降雪の影響で収穫が遅れていたものと春もののお荷が重なったことから、入荷量が平年をかなり上回った前年をやや上回った。 ● 5月は、千葉産の生育が順調のため、前年及び平年をかなり上回った。 ● 6月は、青森産の生育がおおむね順調のため、平年をかなり下回った前年をかなり上回り、平年並みとなった。 ● 期間全体としては、前年及び平年をかなり上回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:106%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月及び5月は、入荷量が多かったものの、前年の価格が安かったことから、平年を下回るも前年をかなり上回った。 ● 6月は、産地の切り替わり時期となったが順調な入荷量となったことから、特に下旬は青森産が天候不順の影響で入荷が少なくなり、高かった前年をかなり下回った。 ● 期間全体としては、前年をやや上回り、平年をかなり下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:103%)

(参考1) 平成26年産春だいこんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

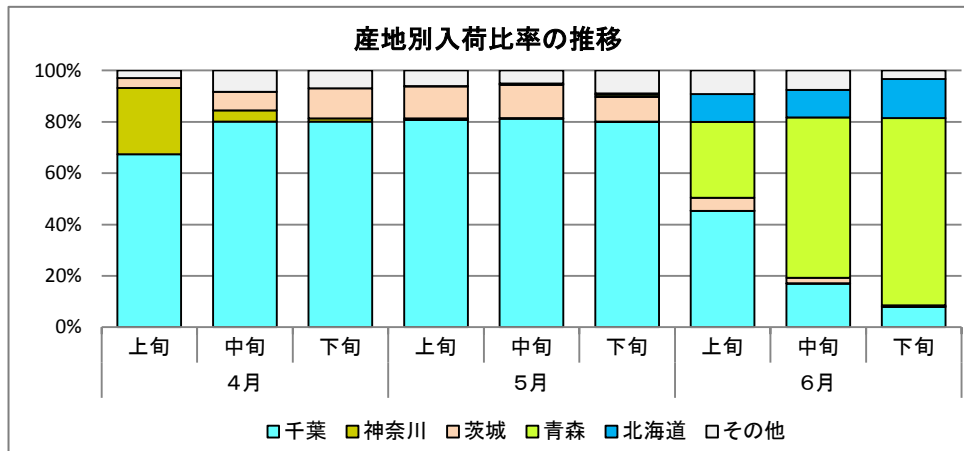
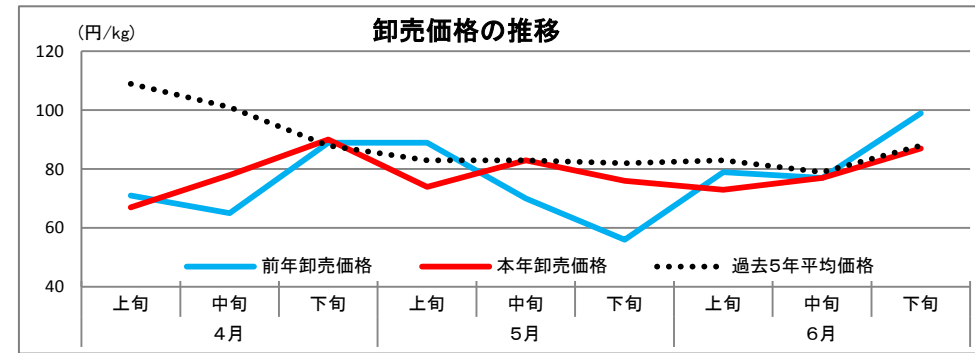
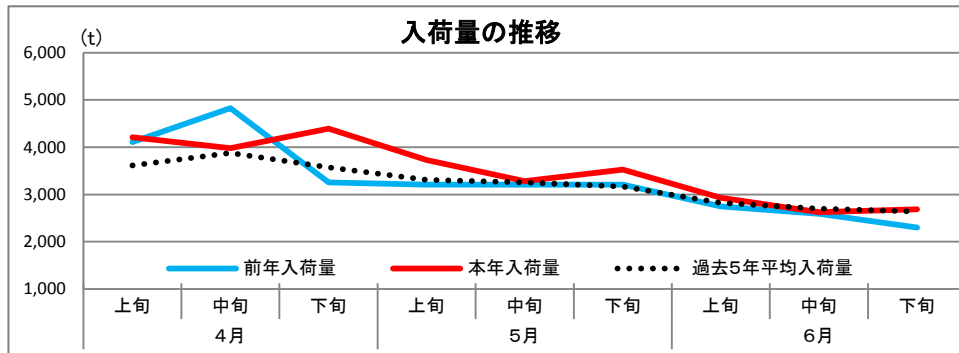
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	102	82	135	116	102	110	107	101	117	106
	103			110			108			
過去5年平均比	116	103	123	113	101	111	104	97	102	108
	114			108			101			

卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	94	120	101	83	119	136	92	100	88	103
	107			107			94			
過去5年平均比	61	77	102	89	100	93	88	97	99	88
	79			93			95			

(参考2) 平成26年産春だいこんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

3. 平成26年産たまねぎの需給・価格の実績

	前回の委員会(26.3.14)での見通し	実績(6月下旬時点)
<p>たまねぎ (4～6月)</p>	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作付面積は、北海道及び兵庫は前年並み、佐賀は、前年をやや下回る見込み。 ● 生育状況は、佐賀は、定植時期の降雨、低温により遅れていたが、現在は回復している。兵庫は、中晩生種が遅れているが、生育は回復している。 ● 出荷量は、前年は、府県産が豊作で出荷量が多かったことから、全体では前年を下回る見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 価格は、府県産の出荷が前年を上回るが、北海道の残量が少ないことから、安値であった前年を上回る見込み。 ● 加工・業務用では、この時期に使用する北海道産の残量が少ないことから、輸入物のニーズが高まる。また、外食産業では従来見られた中国産取扱への抵抗感が、小さくなっている。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、佐賀産が降雨の影響による収穫の遅れ、北海道産が前年、小玉傾向であったこともあり貯蔵在庫が少なかったことから、府県産が豊作で前年を大幅に上回った前年を大幅に下回った。 ● 5月は、佐賀産が作付面積の減少や干ばつ等の影響により玉の肥大が遅れたことから、前年をかなり上回った前年をかなり下回った。 ● 6月は、佐賀産が収穫が終了し貯蔵品の出荷となり、香川産が定植の遅れや小玉傾向となったことから、前年をかなり上回った前年をかなり下回った。 ● 期間全体としては、前年を大幅に下回り、前年をわずかに下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:84%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月から6月は、期間を通じて本年の入荷量が少なく、府県産が豊作で安かった前年や前年を大幅に上回った。 ● 期間全体としては、前年及び前年ともに大幅に上回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:169%)

(参考1) 平成26年産たまねぎの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

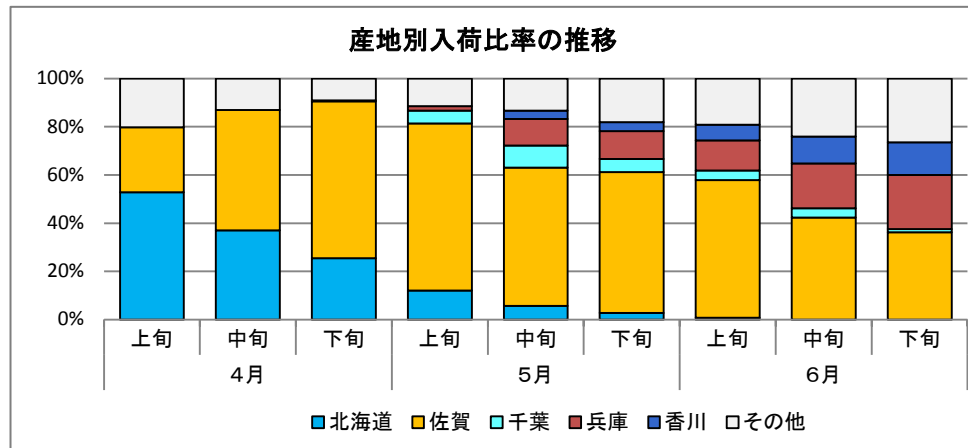
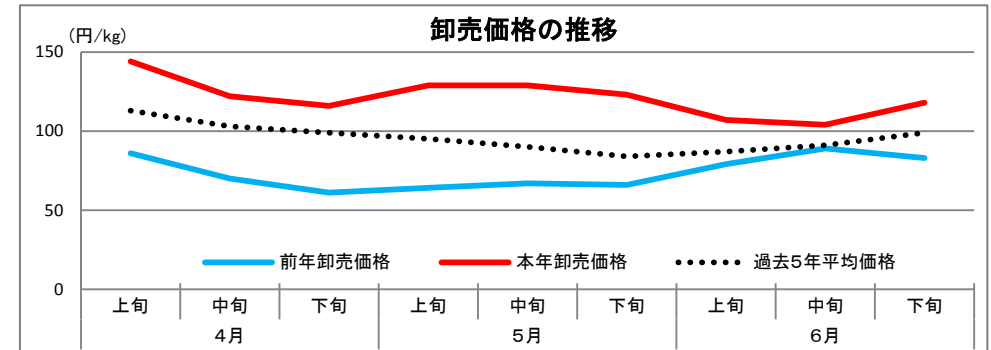
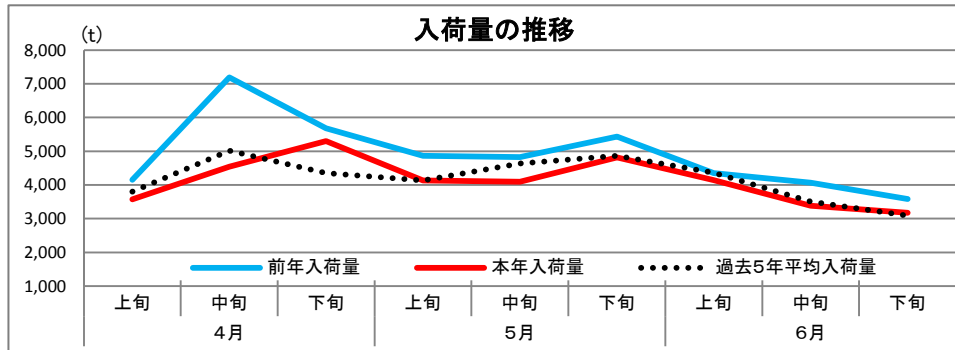
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	86	63	93	85	85	89	95	83	89	84
	79			86			89			
過去5年平均比	94	91	122	100	88	99	95	97	103	98
	102			96			98			

卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	167	174	190	202	193	186	135	117	142	169
	177			195			133			
過去5年平均比	127	118	117	136	143	146	123	114	119	128
	120			143			120			

(参考2) 平成26年産たまねぎの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

4. 平成26年産春夏にんじんの需給・価格の実績

	前回の委員会(26.3.14)での見通し	実績(6月下旬時点)
春夏にんじん (4～7月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作付面積は、徳島は前年並み、千葉は新たな指定産地が増えたことから、前年をやや上回る見込み。 ● 生育状況は、徳島は、年内から年明けの低温で生育が停滞していたが、その後の好天により生育は回復して1週間程度早くなっている。千葉は、降雪で播種ができなかったため、播種作業が平年に比べて10日程度遅れている。 ● 出荷量は、4月は出荷が多かった前年を上回り、5月は徳島産の4月への前進化で下回る見込み。6月は千葉産のピークがずれ込み前年を上回り、7月は前年並みの見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 価格は、4月及び7月は前年並みとなり、5月は出荷のずれ込みで少なくなるため前年を上回り、6月は出荷が増えることから、前年を下回る見込み。 ● 加工・業務用では、この時期の国産のにんじんは小ぶりで歩留まりが悪いため、中国産で対応する傾向が強い。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、徳島産が順調な生育となり、入荷量が平年をかなり上回った前年をかなり上回った。 ● 5月は、徳島産の出荷時期がピークを過ぎ徐々に減少し、千葉産が干ばつ傾向の影響により生育が遅れたことから、前年をやや下回った。 ● 6月は、千葉産の出荷が順調となったことから、前年並みであった前年をやや上回った。 ● 期間全体としては、前年並みとなり、平年をやや上回った。 (4～7月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:101%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、順調な出荷で安かった前年を大幅に下回った。 ● 5月は、順調な出荷で安かった前年をやや上回り、前年並みとなった。 ● 6月は、順調な出荷で安かった前年をやや下回った。 ● 期間全体としては、前年及び平年をかなり下回った。 (4～7月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:93%)

(参考1) 平成26年産春夏にんじんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

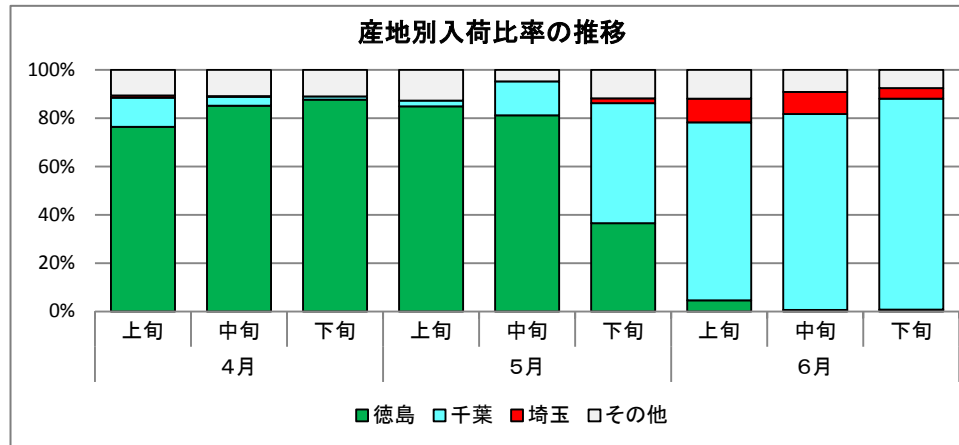
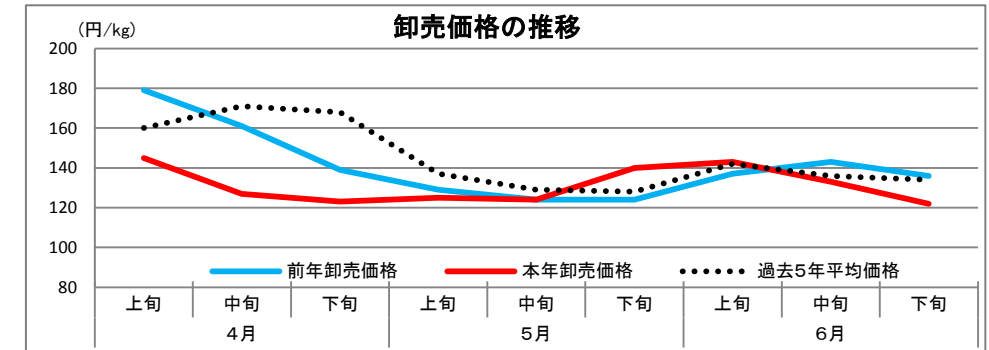
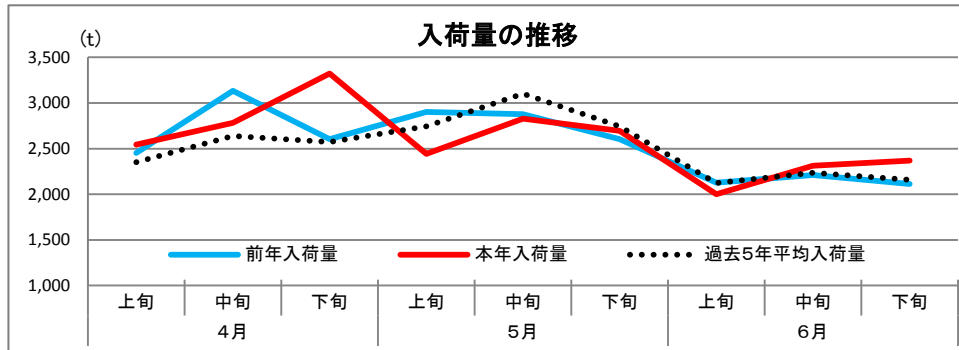
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	104	89	128	84	98	103	94	105	112	101
	106			95			103			
過去5年平均比	108	105	129	89	91	98	94	103	110	103
	114			93			102			

卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	81	79	88	97	100	113	104	93	90	93
	82			103			95			
過去5年平均比	91	74	73	91	96	109	101	98	91	91
	79			99			96			

(参考2) 平成26年産春夏にんじんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

5. 平成26年産春はくさいの需給・価格の実績

	前回の委員会(26.3.14)での見通し	実績(6月下旬時点)
春はくさい (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作付面積は、茨城は前年並みであるが、降雪の影響から一部定植ができないため減少する可能性がある。長野は、前年をやや上回る見込み。 ● 生育状況は、茨城は、降雪の影響で遅れがみられる。長野は、降雪で播種・定植時期が遅れ、生育にも遅れが見られる。 ● 出荷量は、4月は降雪の影響で生育が遅れるため前年を下回り、5月は、茨城の遅れた分が出荷されるために前年を上回り、6月は、長野の遅れた分が出荷されるために前年を上回る見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 価格は、4月は降雪の影響で生育が遅れるため、前年を上回り、5月は4月からずれ込むため、安かった前年並み、6月は長野の5月分がずれ込み入荷が多くなり、前年を下回る見込み。長野では、出荷の大幅増の見込みに伴う作付面積の調整の意向があり、この取組状況によっては、価格が前年並みとなる可能性もある。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、茨城産がおおむね順調な生育となったことから、前年並みの入荷量となり、入荷量がかかなり多かった前年をかかなり下回った。 ● 5月は、茨城産が一部、降雪等により定植が遅れたことや作付面積が減少したことから、入荷量がやや多かった前年及び前年をかなり下回った。 ● 6月は、産地の切り替え時期となり茨城産の入荷量の減少が早まる中で、長野産の生育がおおむね順調となったことから、前年をかなり下回った前年をやや上回った。 ● 期間全体としては、前年をかかなり下回り、前年をやや下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:93%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、生育が順調で前年並みの入荷量があり、今後も安定した入荷量が見込まれることから、前年を大幅に下回った前年並みとなった。 ● 5月は、順調な出荷で安かった前年を大幅に上回った。 ● 6月は、茨城産の減少が早まり入荷量が前年を下回ったこと、また、長野産が当初、出荷の遅れが見込まれていたことにより業務筋の一時的な在庫確保の需要が高まったことから、前年並みであった前年を大幅に上回った。 ● 期間全体としては、前年を大幅に上回り、前年をかかなり下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:122%)

(参考1) 平成26年産春はくさいの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

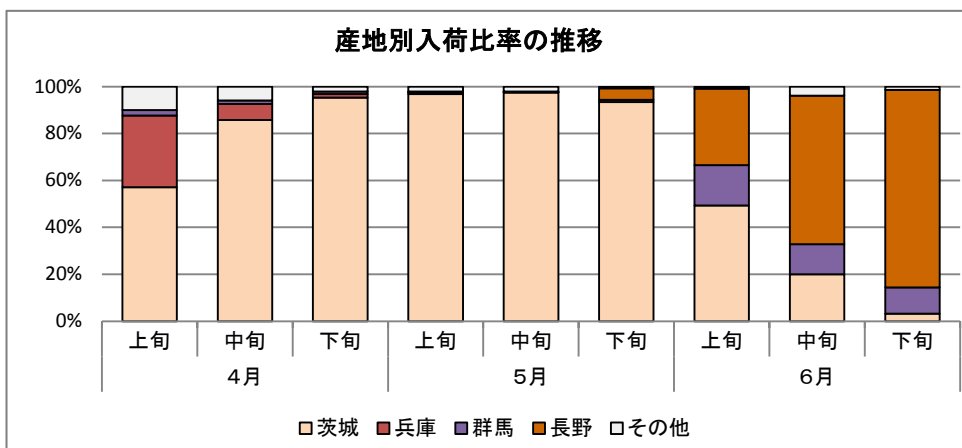
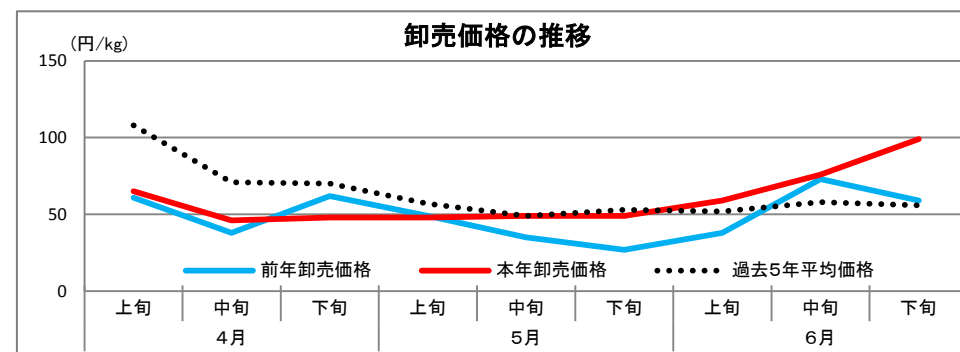
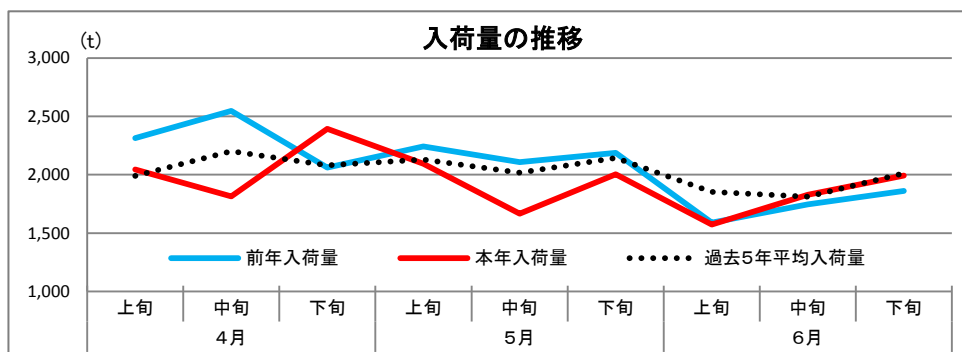
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	88	71	116	93	79	92	99	105	107	93
	90			88			104			
過去5年平均比	103	82	115	98	83	94	85	101	99	96
	100			92			95			

卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	107	121	77	98	140	181	155	104	168	122
	100			130			139			
過去5年平均比	60	65	69	84	100	92	113	131	177	93
	65			91			144			

(参考2) 平成26年産春はくさいの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

6. 平成26年産の春レタス需給・価格の実績

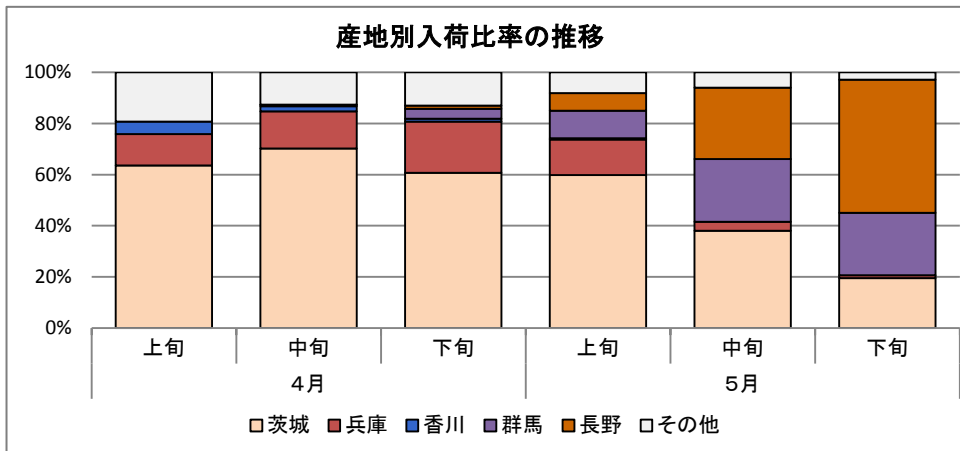
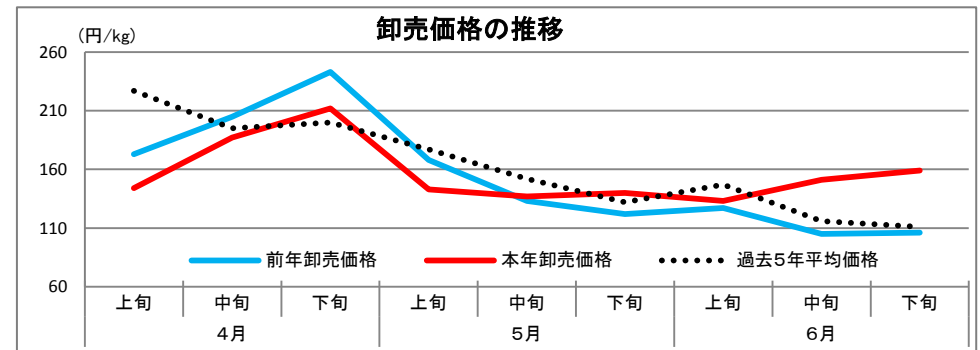
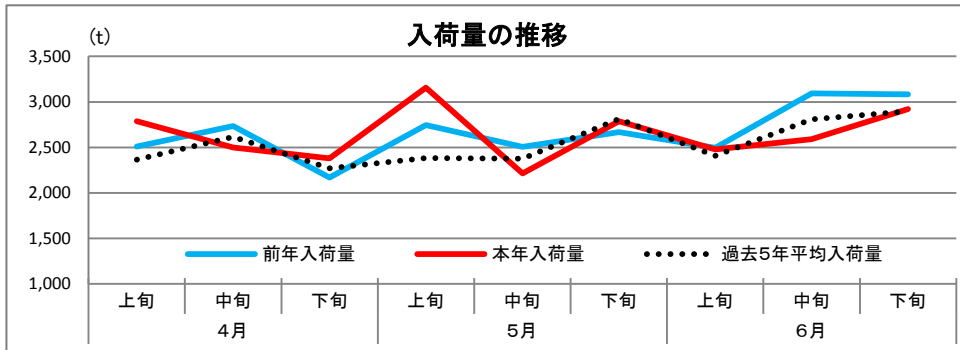
	前回の委員会(26.3.14)での見通し	実績(6月下旬時点)
春レタス (4～5月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作付面積は、茨城及び兵庫は前年並みであるが、長野は、やや前年を下回る見込み。 ● 生育状況は、茨城は、降雪の影響で定植が1～2週間停滞し、現状では生育遅れもみられる。兵庫は、生育順調である。長野は、これから定植作業が始まり、4月の天候によって決定する。 ● 出荷量は、全期間を通じて平年に比べてやや少ないが、前年並みの見込み。 <p>(需要・価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 価格は、前年並みの出荷となることから、全期間を通じて前年並みの見込み。 ● 加工・業務用では、降雪の影響で4月下旬から5月上旬分が減少し、国産品の確保ができないことも想定して、輸入品を確保する動きもみられる。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、茨城産及び兵庫産が、順調な生育となったことから、平年をわずかに上回った前年をやや上回った。 ● 5月は、茨城産及び兵庫産に長野産が加わり、各産地とも引き続き、順調な生育となったことから、平年をやや上回った前年をやや上回った。 ● 期間全体としては、前年をやや上回り、平年をかなり上回った。 (4～5月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:103%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、入荷量が多かったことから、平年をやや上回った前年をかなり下回った。 ● 5月は、4月に引き続き、入荷量が順調となったことから、平年をわずかに下回った前年並みとなった。 ● 期間全体としては、前年及び平年をかなり下回った。 (4～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:92%)

(参考1) 平成26年産春レタスの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	4月			5月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	111	91	110	115	88	104	103
	103			103			
過去5年平均比	118	96	105	132	93	99	107
	106			108			

	4月			5月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	83	91	87	85	103	115	92
	87			99			
過去5年平均比	63	96	106	81	90	106	89
	86			92			

(参考2) 平成26年産春レタスの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター